



特集

「赤ちゃんの頭のかたち外来」 を開設しました

心臓弁膜症に対する 新たな治療法を開始

鳥の巣海岸(田辺市)

CONTENTS

- Topics
- 隣がんセンター「隣がんドック」新プランのご案内
 - 飲食スペースを新たに設けました
 - 就任の挨拶(泌尿器科学講座・柑本教授)
 - 医療安全推進部について

- Information
- 2025年度 日本肝臓学会市民公開講座
～肝がん撲滅を目指して～
 - 令和6年度和歌山県立医科大学功績表彰
 - 白衣授与式

【理念】

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

【基本方針】

1. 患者さんとの信頼関係を大切にし、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
2. 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
3. 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
4. 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲(はなおかせいしゅう)が全身麻酔薬として用いた植物「曼荼羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

「赤ちゃんの頭のかたち外来」を開設しました



2023年11月より、形成外科では「赤ちゃんの頭のかたち外来」を始めました。この外来は、赤ちゃんの頭のかたちが気になるご家族のための専門的な外来です。

赤ちゃんの頭は、生まれてから1歳半頃までやわらかく、成長の過程でかたちも変わっていきます。向きぐせや寝かせ方などの影響で、後頭部が平らになったり、左右非対称になったりする頭の「ゆがみ」が生じることがあります。このゆがみは、成長とともに目立たなくなる場合もありますが、状態によっては早めの対応が大切です。

まず、医師が赤ちゃんの頭を触って診察し、ゆがみの程度を確認します。必要に応じて3Dスキャナーを使った詳しい測定を行い、頭のかたちを正確に評価します。ゆがみが強い場合、赤ちゃんの頭に合わせた専用の「ヘルメット治療」をご提案させていただきます。

このヘルメット治療は、生後4～8か月ごろから始める

のが一般的ですが、できるだけ早く始めることで、より効果が得られやすくなります。

また、まれに脳の成長を妨げる「頭蓋縫合早期癒合症(ずがいほうごうそうきゆうしょう)」という病気が隠れていることもあります。この病気は早期の診断と治療がとても大切です。こうした病気の可能性もふまえて、形成外科医が丁寧に診察し、ご家族にわかりやすくご説明いたします。

お子さまの頭のかたちが気になる場合は、どうぞお早めにご相談ください。



▲ヘルメット治療

頭の変形(ゆがみ)とは?

頭の変形には大きく分けて右の3つの種類があります。頭の変形した状態を「変形性斜頭」「変形性短頭」「変形性長頭」といいます。まれに「頭蓋縫合早期癒合症」という病的変形もあります。

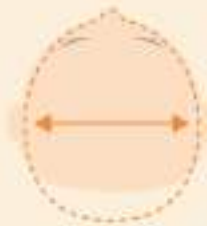
変形性斜頭

上から見たときに左右非対称です。顔や耳の左右差も見られる場合があります。



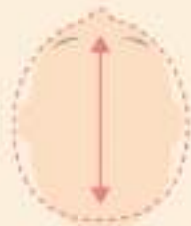
変形性短頭

上から見たときに前後径が短い頭の形です。いわゆる絶壁頭です。



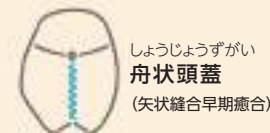
変形性長頭

上から見たときに前後径が長い頭の形です。

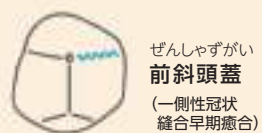


頭蓋縫合早期癒合症

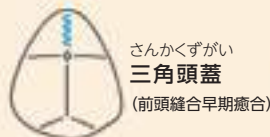
赤ちゃんの頭は脳の成長のため複数の骨が緩やかに結合しています。からだの成長とともに赤ちゃんの脳も急速に成長していきますが、通常よりも早く骨同士が結合してしまうと脳の成長が阻害される可能性があります。早期にご相談いただく事で適切な治療を選択可能です。頭のかたちが気になったらお近くの専門外来を受診してください。



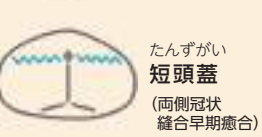
しょうじょうずがい
舟状頭蓋
(矢状縫合早期癒合)



ぜんしやずがい
前斜頭蓋
(一側性冠状縫合早期癒合)



さんかくずがい
三角頭蓋
(前頭縫合早期癒合)



たんずがい
短頭蓋
(両側冠状縫合早期癒合)

(器質性僧帽弁閉鎖不全症)

心臓弁膜症に対する 新たな治療法を開始

心臓弁膜症(器質性僧帽弁閉鎖不全症)に対する PASCALシステムを用いた経皮的僧帽弁接合不全修復術(クリップ術)

心臓の弁に障害が起き、本来の役割を果たせなくなった状態を心臓弁膜症と呼び、高齢化の進行とともに増加しています。そのうち、肺で酸素を渡された血液が戻ってくる左心房と左心室との間にある僧帽弁がうまく閉じなくなることで、血液が左心室から左心房に逆流する僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。治療の選択肢として、薬物治療と外科手術がありますが、外科手術は心機能低下、併存疾患、高齢などの理由で困難である場合が多く、最近まで他に有効な治療法がありませんでした。

近年、僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療として、**経皮的僧帽弁クリップ術**が登場し、当院では2022年9月より施行しています。全身麻酔でカテーテルを足の付け根から挿入し、僧帽弁にクリップを留置します。治療後は翌日から歩行可能で、外科手術と比較して、体への負担が少ない治療法です。これまでは、主に心機能低下に伴った機能性僧帽弁閉鎖不全症に対してマイトラクリップを用いて、40例の治療を行ってきました。

新たに僧帽弁逸脱などの器質性僧帽弁閉鎖不全症

に対して**PASCALシステム**が使用可能となり、当院では2025年1月より導入しました。これまでのマイトラクリップでは治療困難であった患者さんに対して有効な治療法であり、従来のシステムと比較して、弁尖構造に沿って適合し、心拍動に追従しやすいため、僧帽弁に対するストレスが少なく、弁尖組織の損傷を軽減することができます。

これらのシステムを組み合わせることによって、これまで以上に多くの外科手術ハイリスクの僧帽弁疾患患者さんに対してより安全な治療を提供することで、地域医療への貢献を継続してまいります。



膵がんセンター「膵がんドック」新プランのご案内

膵がんは初期での発見が難しく、見つかった時には既に進行している場合が非常に多いがんです。膵がんセンターでは、膵がんの早期発見のため検診に特に力を入れており、膵がんドックを行っています。

この度、新たに「**ブロンズプラン**」と「**採血オプション**」を導入しました。

プラン名	内容	検査内容	料金(税込)※1
プラチナプラン (火・木曜日)	胆肝膵すべてを診る最も充実したプラン。超音波内視鏡検査(胃カメラ)で胃も同時に診ることができます。(所要時間:約5~6時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●腹部エコー検査 ●超音波内視鏡検査	121,660円
ゴールドプラン (月曜日)	胆道・膵臓を診るプラン。超音波内視鏡検査で胃も同時に診ることができます。(所要時間:約4~5時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●超音波内視鏡検査	114,180円
シルバープラン (水曜日)	精密エコー(半座位法・胃充満法)で肝胆膵を診るプラン。検査が比較的短時間、胃カメラに抵抗がある方向けの検査。(所要時間:約3時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●膵精密エコー検査	103,400円
ブロンズプラン (金曜日)	超音波内視鏡を用いて、胃と胆・膵を同時に診ることができます。(所要時間:約4~5時間)	●血液検査 ●超音波内視鏡検査	88,440円

採血オプション※2	内容	料金(税込)
APOA2-ITQ	従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定する、新規のバイオマーカー。	3,740円
PSA	採血のみで行う前立腺がんのスクリーニング検査。	1,320円



▲ 超音波内視鏡検査



▲ MRI検査



▲ 腹部エコー検査

※1 費用は全て自費になります
※2 採血オプションはどのプランでも選択していただけます

●膵がんドックのお申し込み

膵がんドックは平日のみの予約制です。プランを選んでいただいた上で下記へお電話いただき、予約してください。

▶ 電話予約センター TEL:073-441-0489

【受付時間】8:30~16:00まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

膵がんドックについて詳しくはホームページをご参照ください▶



膵がんセンターでは膵がんの治療についても積極的に取り組んでいます。膵がんの治療をご希望の方は下記へご連絡ください。迅速に診察予約を取得いたします。
▶ 膵がんセンター TEL:073-441-0905
【受付時間】9:00~16:30まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

飲食スペースを新たに設けました

患者さんからのご要望を受け、院内に飲食スペースを設けました。3階キッズスペース横と4階外来エレベーター前の2か所(下記参照)に設置しました。是非、ご利用ください。お待ちになる際には、待合番号を病院外来アプリ・スマパ(Sma-pa)でご確認いただけますので、こちらも併せてご活用ください。



Sma-pa
ダウンロード
はこちら▶

